

## 青島派遣レポート

下関市総合政策部国際課  
(青島市派遣職員)

吉 田 和 矢

# 中国国際漁業博覧会のご紹介

4月13日、大阪・関西万博がついに開幕しました。博覧会と聞くと少しワクワクする気持ちになるのは私だけではないはずです。さて、そんな大阪・関西万博にも負けずとも劣らない・・・かはわかりませんが、青島において世界三大漁業博の一つとされる博覧会が毎年秋に開催されるのをご存じでしょうか？

実は私も比較的最近この存在を知ったのですが、「世界三大漁業博」と聞くと、水産都市の下関市職員である私にとってはかなりのパワーワードです。「いやいや、今中国では日本の水産物輸入はNGなのでは!？」とお気づきの方もいらっしゃると思うのですが、以下のようなメリットがあるそうです。

### メリット①

日本から水産品の輸入はできないので、パンフレット等での説明になるが、世界中からバイヤーが集まるためビジネスチャンスはある。例えばASEAN地域への輸出等。

### メリット②

参観には入場料がかかるため基本的に業界関係者しか参加しない。(いわゆる冷やかしが少ない)

「それでは、実際に視察した報告をさせていただきます!」と言いたいところですが、申し訳ございません。昨年は参加しておりません。昨年の様子について、以下HPにて紹介されていたので、ぜひご覧ください。

- ・JETRO「ジェトロ、中国国際漁業博覧会に3年ぶり出展、進出日系企業の販路拡大を支援」

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/11/6e657a6ea356c0da.html>

- ・在青島日本国総領事館「中国国際漁業博覧会の開催」

[https://www.qingdao.cn.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/11\\_000001\\_01849.html](https://www.qingdao.cn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_01849.html)

一方、今年の開催について調べてみたところ、日本語での情報がほとんどなかったことから、当漁業博公式HPに掲載されている情報を基に、開催概要をお伝えしたいと思います。

- ・「第28届中国国际渔业博览会」※中国語公式サイト

<https://www.seafood-expo.com/>

- ・「China Fisheries & Seafood Expo 2025」※英語公式サイト

<https://chinaseafoodexpo.com/>

【中国国際漁業博2025開催概要】

1. 開催日：

2025年10月29日（水曜日）～31日（金曜日） 10時～17時

※ただし、最終日は15時半で終了

2. 会場：

青島・紅島国際会議展覽中心（青島市城陽区火炬路326号）

※青島膠東国際空港から地下鉄で5駅（約22分）のところ

3. 展示内容：

生鮮・冷凍水産品、一次水産加工品、加工・包装機械、養殖技術・設備、  
品質管理及び関連サービス、水産品物流サービス等

4. 来場者：

水産業関連バイヤー及びサプライヤー

（例）世界大手チェーンバイヤー、コールドチェーン物流業者、宿泊・飲食業者、輸入業者、加工業者、小売・販売業者、航空会社等

5. 出展方法：

公式HPから申し込み（出展料は標準ブース（9㎡）13,000元～）

6. 参観方法：

公式HPから申し込み（7月受付開始予定）

7. 昨年実績：

世界51の国・地域から1602社が参加。出展者リストには、日本に関係する企業として30社が登録。マルハニチロ、ニッスイといった水産加工業者以外に、ソース・味噌製造業者（オタフクソース、ハナマルキ）、機械メーカー、JETRO、自治体（広島県）、高知県水産物輸出促進協議会なども含まれる。

1996年から始まった当漁業博ですが、今年で28回目の開催となります。開催規模も年々大きくなっており、世界的にも注目のイベントです。ちなみに、三大漁業博の他の二つは、スペイン・バルセロナの「Seafood Expo Global」と米国ボストンの「Seafood Expo North America」だそうです。この2都市に行くのはなかなか大変ですが、短期滞在ビザが免除されている今、福岡空港から2時間ちょっとの直行便で行ける青島での開催は、とても良い機会であると感じます。ぜひ視察先の一つとして検討されてみてはいかがでしょうか。